

UG1185 (v2015.2.1) 2015 年 9 月 30 日

機能のサマリ

ライセンスおよびインストールに関する情報は、『SDSoC™ 環境ユーザー ガイド：入門』(UG1028)を参照してください。SDSoC 環境の使用に関する詳細は、『SDSoC 環境ユーザー ガイド：入門』(UG1028)のチュートリアルを参照してください。ビルド済みのチュートリアルファイルは <sdso_install_root>/docs/labs ディレクトリにあります。その他の情報およびチュートリアル情報は、『SDSoC 環境ユーザー ガイド』(UG1027)を参照してください。すべてのユーザー ガイドは、<http://japan.xilinx.com/products/design-tools/software-zone/sdso.html#docstraining> から参照できます。

リリースのサマリ

- Zynq® ファミリー デバイス用の SDSoC 2015.2.1 および Vivado Design Suite 2015.2 (Vivado® HLS を含む System Edition) を含む統合インストーラー
 - サポートされるターゲット用のツール、データ ファイル、およびパッチを含む完全なインストール環境
 - ウェブ ベースのインストーラー オプション
- Windows 64 ビットをサポート
 - Windows 7 SP1 (64 ビット) 英語版
- Linux 64 ビット ホスト サポート
 - Red Hat Enterprise Workstation 6.4 ~ 6.6 および 7.0 (64 ビット)
 - Ubuntu Linux 14.04 LTS (64 ビット) - 個別に xsltproc をインストールする必要なし
- ターゲット OS サポート
 - Linux (kernel 3.19、ザイリンクス ブランチ Xilinx-v2015.2.02)、ベアメタルおよび FreeRTOS 8.2.1
 - ZC702 プラットフォーム用のサンプル PetaLinux BSP、『SDSoC 環境ユーザー ガイド：プラットフォームおよびライブラリ』(UG1146) にその説明を含む
- 資料をアップデート
 - 『SDSoC 環境ユーザー ガイド』(UG1027)
 - 『SDSoC 環境ユーザー ガイド：入門』(UG1028)：AXI Performance Monitor の使用方法のアップデートを含む
 - 『SDSoC 環境ユーザー ガイド：プラットフォームおよびライブラリ』(UG1146)：サンプルプラットフォーム チュートリアルをアップデート
- プロジェクト作成、インプリメンテーション、およびデバッグの SDSoC Eclipse UI
 - ターゲットに xsdb を使用して接続するようデバッガーをアップデート
 - ソース エディターでファイルが保存されていないことを示すなど、使いやすさを向上するためのアップデート
 - タイミングが満たされていない場合に追加情報を含むクリティカル警告を表示
 - エラー メッセージをハイライト
 - オンライン SDSoC ヘルプ
- フローの改善点
 - #pragma HLS PARTITION を使用した引数を含む Vivado HLS 関数の追加エラー チェック
 - パフォーマンス予測フローでインクリメンタルビルドをサポート
 - Vivado インプリメンテーションで opt_design -directive Default を使用
- プラットフォームのアップデート
 - フルリリース サポートに OSD プラットフォームを含める

© Copyright 2015 Xilinx, Inc. Xilinx、Xilinx のロゴ、Artix、ISE、Kintex、Spartan、Virtex、Vivado、Zynq、およびこの文書に含まれるその他の指定されたブランドは、米国およびその他の各国のザイリンクス社の商標です。すべてのその他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

本資料は表記のバージョンの英語版を翻訳したもので、内容に相違が生じる場合には原文を優先します。資料によっては英語版の更新に対応していないものがあります。日本語版は参考用としてご使用の上、最新情報につきましては、必ず最新英語版をご参照ください。

- プラットフォーム展開サポートを向上
 - スタンドアロン BSP 用の単純な LED プラットフォームの新しいチュートリアル
 - UG1146 でプラットフォーム作成の詳細な手順を示したチュートリアルをアップデート
 - ハードウェア プラットフォーム XML ファイルのエラー チェックを向上
 - ユーザー用に生成された SD カード イメージに追加する内容を指定可能
 - スタンドアロン BSP コンフィギュレーション ファイル (MSS) およびスタンドアロン BSP ソフトウェア リポジトリをサポート
- 新規およびアップデートされたサンプル アプリケーション
- バグ修正およびインフラストラクチャのアップデート
 - 安定性および使いやすさを向上 (エラー チェックの向上を含む)
 - Windows で複数行のマクロを含むソース コードをサポート
 - 標準プラットフォームにおいて、ハードウェア デバッグに使用する ILA IP コアで使用されるクロックを Linux ブートによりイネーブル
 - ハードウェア 関数レイテンシが判断できない場合または指定されていない場合に表示されるエラー メッセージを向上
 - 同じバス名の AXIMM ポートを同じシステム ポートに割り当て
 - INOUT 引数の参照渡しにおけるスタブ ファイルの問題を修正
 - プラットフォーム評価チェックリストをアップデート
- 上級ユーザー用の機能
 - sdsc/sds++ の新しい `-impl-tcl` コマンド ライン オプションにより、デフォルトの Vivado 合成およびインプリメンテーション コマンドの代わりに使用するコマンドを指定可能

追加のライセンス要件および制限

SDSoC samples/platforms/zc702_hdmi プラットフォームには、SDSoC ライセンスの一部として含まれている次のザイリンクス IP コアのライセンスが必要です。

- LogiCORE Chroma Resampler
- LogiCORE Video Timing Controller
- LogiCORE Test Pattern Generator
- LogiCORE YCrCb to RGB Color-Space Converter

このビデオ プラットフォームには、ザイリンクス パートナーからの IP の評価ライセンスが含まれます。これらの IP を製品に使用するには、フル ライセンスを入手する必要があります。詳細は、『[Zynq-7000 All Programmable SoC : ZC702 評価キットおよびビデオと画像キット スタートアップ ガイド](#)』(UG926) を参照してください。

既知の問題

[アンサー 65472](#) を参照してください。

改訂履歴

次の表に、この文書の改訂履歴を示します。

日付	バージョン	改訂内容
2015年9月30日	2015.2.1	テキスト全体をアップデート
2015年7月26日	2015.2	フォーマットの問題を修正、内容の変更なし
2015年7月20日	2015.2	初版

法的通知

本通知に基づいて貴殿または貴社(本通知の被通知者が個人の場合には「貴殿」、法人その他の団体の場合には「貴社」。以下同じ)に開示される情報(以下「本情報」といいます)は、ザイリンクスの製品を選択および使用することのためにのみ提供されます。適用される法律が許容する最大限の範囲で、(1)本情報は「現状有姿」、およびすべて受領者の責任で(with all faults)という状態で提供され、ザイリンクスは、本通知をもって、明示、黙示、法定を問わず(商品性、非侵害、特定目的適合性の保証を含みますがこれらに限られません)、すべての保証および条件を負わない(否認する)ものとします。また、(2)ザイリンクスは、本情報(貴殿または貴社による本情報の使用を含む)に関係し、起因し、関連する、いかなる種類・性質の損失または損害についても、責任を負わない(契約上、不法行為上(過失の場合を含む)、その他のいかなる責任の法理によるかを問わない)ものとし、当該損失または損害には、直接、間接、特別、付随的、結果的な損失または損害(第三者が起こした行為の結果被った、データ、利益、業務上の信用の損失、その他あらゆる種類の損失や損害を含みます)が含まれるものとし、それは、たとえ当該損害や損失が合理的に予見可能であったり、ザイリンクスがそれらの可能性について助言を受けていた場合であったとしても同様です。ザイリンクスは、本情報に含まれるいかなる誤りも訂正する義務を負わず、本情報または製品仕様のアップデートを貴殿または貴社に知らせる義務も負いません。事前の書面による同意のない限り、貴殿または貴社は本情報を再生産、変更、頒布、または公に展示してはなりません。一定の製品は、ザイリンクスの限定的保証の諸条件に従うこととなるので、japan.xilinx.com/legal.htm#tosで見られるザイリンクスの販売条件を参照してください。IP コアは、ザイリンクスが貴殿または貴社に付与したライセンスに含まれる保証と補助的条件に従うこととなります。ザイリンクスの製品は、フェイルセーフとして、または、フェイルセーフの動作を要求するアプリケーションに使用するために、設計されたり意図されたりしていません。そのような重大なアプリケーションにザイリンクスの製品を使用する場合のリスクと責任は、貴殿または貴社が単独で負うものです。japan.xilinx.com/legal.htm#tosで見られるザイリンクスの販売条件を参照してください。

この資料に関するフィードバックおよびリンクなどの問題につきましては、jpn_trans_feedback@xilinx.comまで、または各ページの右下にある[フィードバック送信]ボタンをクリックすると表示されるフォームからお知らせください。いただきましたご意見を参考に早急に対応させていただきます。なお、このメール アドレスへのお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。